

マイナビ「退職代行サービスに関する調査レポート（2024年）」

株式会社マイナビは、2023年6月以降の直近1年間に転職した人と、2024年1～7月に中途採用を行った企業の人事担当者を実施した、「退職代行サービスに関する調査レポート（企業・個人）」の結果を10月3日に発表しました。今号では、この調査結果からその概要を取り上げます。

なお、詳しくはマイナビのHPでご確認ください。https://career-research.mynavi.jp/research/20241003_86953/

【個人】退職代行サービス利用率（回答数800）

年代別の退職代行サービス利用率		転職活動時の職種別の退職代行サービス利用率（上位5業種）	
20代	18.6%	営業	25.9%
30代	17.6%	クリエイター・エンジニア	18.8%
40代	17.3%	企画・経営・管理・事務	17.0%
50代	4.4%	サービス職	13.3%
全体	16.6%	技能工・建築・土木	12.6%

【個人】退職代行サービスの利用理由（上位6項目：回答数800）

1	退職を引き留められた（引き留められそうだから）
2	自分から退職を言い出せる環境でないから
3	退職を伝えた後トラブルになりそうだから
4	いち早く退職する必要があるから
5	退職のやりとりや手続きが面倒だから
6	退職理由を考える（伝える）のが面倒だから

【個人】今後の退職代行利用意向（回答数800）

今後も利用したいと回答した割合（年代別）		今後も利用したいと回答した割合（職種別：上位5業種）	
20代	20.3%	営業	37.8%
30代	25.3%	医療・福祉・保育・教育・通訳	21.7%
40代	17.9%	クリエイター・エンジニア	18.1%
50代	5.5%	コンサルタント・専門職	17.6%
全体	20.1%	企画・経営・管理・事務	15.0%

【企業】自社の退職代行利用状況（回答数1,600）

退職代行サービスを利用した人がいた（年別）		退職代行サービスを利用した人がいた（職種別：上位6業種）	
2024年（1月～6月）	23.2%	金融・保険・コンサルティング	31.4%
2023年	19.9%	IT・通信・インターネット	29.8%
2022年	19.5%	メーカー	25.4%
2021年	16.3%	商社	22.8%
2020年	16.1%	環境・エネルギー	22.2%
2019年以前	15.7%	運輸・交通・物流・倉庫	21.7%

10月は「年次有給休暇取得促進期間」です

厚生労働省では、年次有給休暇（以下「年休」）を取得しやすい環境整備を推進するため、毎年10月を「年次有給休暇取得促進期間」として、集中的な広報を行っています。

「過労死等の防止のための対策に関する大綱」（令和6年8月2日閣議決定）により、令和10年までに年休の取得率を70%とすることが、政府の目標に掲げられています。一方で、令和4年の年休の取得率は62.1%と過去最高となったものの、目標には届いていない状況です。そのための取組として、

- （1）計画的な業務運営や休暇の分散化に資する年休の計画的付与制度を導入すること
 - （2）働く人の様々な事情に応じた柔軟な働き方・休み方に資する時間単位年休を活用すること
- などが考えられます。